

寒中お見舞申上げます

昨年未書きかけたお便り。きちんと仕舞いしないまま
年を越してしまいましたが、お許し下さいませ。

「あ、おばあちゃん、千客万来が生まれたんだね」と
孫に励まされて完成させなくては……と改めペン
走らせておきます。

「○○○○マ」へ昨年未連れて行つてもらいました。
岡崎県の野菜・果樹生産視察団としての旅でした。私達
の国のように発展はしていませんでしたが、信仰心の
厚さがおもく、人々の態度の中には、真似の出来
ない落ちつきと満足しそうな笑顔が身についており
これは本物としての感じがしました。

子供達がボールペンをねだつてもらうついでには
困りました。彼等なりに必死で生活して居るの
で……。ハたは工場……（うるし工場）

稲刈りも今更手作業で……おぼろげですが
何十年も前の日本の姿を思い出しました。
とにかく、私達は喜ばれますが……です。

「○○○○ン」ブラスル方面に、主人は今
旅に出ています。ぶどうの穂木を沢山もつて。

我が家のぶどう園は、剪定が終わる、切った枝
の始末が少し残つておりますが、静かに芽吹くの
待つておきます。今年もいよいよ笑がなますよう
祈るおきます。

近所の農園の方々は、そろそろハウスにビニ
ールを張るかと話しておいでです。主人が帰国
したら、またあわただしく仕事が始まること
（？）……、只今私は休業中です。

「ゴピー」機が言うことを聞いてくれなくなつた
今日は、忙し、中、義弟が使、易いものと
交換してくれ、大助かりでした。このお便りが
手早く印刷できます。

5ケタのまま宛名を書いてもらうていた封筒が
壱帖にならな、もうに明日は発送出来るよう
がんばります。あ、記念になります。

本意も

どうぞよろしくお願

申上げます